

RAKUSAI PUB.LAB. Meeting Report vol.2

洛西ニュータウンのこれからを考え、まちを楽しくする相談と実験の場“RAKUSAI Pub.Lab.(洛西パブラボ)”の2026年度の第2回定例会が9月12日に開催されました。

RAKUSAI Pub. Lab. について

「洛西をもっと楽しくしたい!」という住民、学生、事業者のみなさんが、年齢や職業の枠を超えて集まる“まちの実験室”です。私たちの目標は、洛西の理想の暮らしをみんなの手でカタチにすること。これまでも公園や広場を使い、たくさんのワクワクする実験をまちなかで実現してきました。

スケジュール

- 1 8/22(土) 10:00-12:00
会場:ラクセーヌ センターコート
- 2 9/12(土) 10:00-12:00
会場:洛西支所 1階 ロビー
- 3 10/7(水)-9(金) 13:00- 17:00 ごろ
会場:洛西支所 1階 ロビー
- お試
し
実
施
4 11/14(土) 11:00-15:00
会場:ラクセーヌ南側 芝生広場
(西京ひろばin洛西と同日開催)
- 5 12/19(土) 10:00-12:00
会場:洛西支所 1階 ロビー

今年はどのタイミングからの参加も歓迎です!ぜひお友達や興味がある方にお声がけください!

開催概要

日 時 2026年9月12日(土) 10:00~12:00
会 場 洛西支所1階 ロビースペース
参加者 12名(ほか見学者)

当日の流れ

- 1 パブラボのふりかえりと今年度の進め方について
- 2 テーブルトーク
 - ①パブラボの今後の運営について
 - ②パブラボでやってみたいこと、興味があること
 - ③フリートーク
- 3 全体共有

今年度の洛西パブラボ

今年度は月1回の定例会を開催しながら、活動継続にむけて、参加メンバーの活動しやすいスケジュールややりたいことを検討し、実践します。

POINT!

- ・全体の集まりを定期的に開催
- ・学びの場、各取組の共有と新たな仲間集め
- ・取組だけでなく、テーマを設けた対話の場づくり
- ・「洛西を良くしたい、楽しみたい」という思いは共有しつつ、集まりやすいチームでチーム毎の活動をして◎

テーブルトーク

3つのテーブルでそれぞれのトークテーマを基に、集まったメンバーで話し合いました。新しい方や久しぶりの方の参加もあり、様々な意見やアイデアが出ました。

洛西パブラボのあり方、運営体制について

出張パブラボ（キャラバン展開）

- ・いつも行っている中心部だけでなく、新林、境谷などの各地区へ出向いてワークショップを開催し、新規参加者の発掘につなげる

地域の人材・場所のバンク化

- ・各地区のキーマンを取材・発掘し、強みを見出したりつながりを作る。「人の図鑑」やマップの作成、人材バンクや活動場所を紹介できる仕組みづくりを目指す

ロードマップの作成と関わり方の具体化

- ・運営への参加ハードルを下げるため、最初にロードマップを作成する場を設ける。ロードマップに対して参加者一人ひとりが「どう関われるか・担えるか」を考えるプロセスを通じて、自然な運営形態を模索する



やってみたいこと、取組アイデア

蚤の市／音楽を通じた多世代交流

- ・11/14の西京ひろば in 洛西にあわせて小さく実施してはどうか。
- ・物販にとどまらず、特技や活動の紹介、出品物の「思い出」を添える仕組み、テーマ設定などを検討
- ・レコードを聴けるスペースを設置し、多世代がつながる場をつくる
- ・実現にむけて個別相談をして進める

出張パブラボとの連携と日常的な居場所づくり

- ・蚤の市を出張パブラボと同時開催し、パブラボを知らない人への入り口にする。イベント的な一過性ではなく、さまざまな世代が日常的・継続的に集える「コミュニティカフェ」のような場所を目指す

農地・耕作放棄地などのマッチング

- ・竹楽器の制作・演奏（竹太鼓をやっている人と連携した演奏・ダンス、または竹太鼓づくり）

そのほか

大原野と洛西の連携・交流

- ・隣接していながら人の行き来やつながりが薄い現状があり、もっと往来や横のつながりや見守り等の福祉的連携を深めたい。

自然や文化、食・農業を活かしたアプローチ

- ・自然や文化を活かした場づくりや、外から人が関わるきっかけづくり
- ・畑で焚き火をする・話を聞くといい「小さなきっかけ」「小さなステップ」から関われる体験づくり



参加者の気づき・感想

「パブラボのプログラムを通じて、異世代の交流を生みたい」「ちょっとめんどくさいことが人との関わりを生む」「まちの強み、良さを知り発信する」